



～指導方法教えます～

指導技術向上の ポイント

宮城県蔵王高等学校

教諭 山口裕之

教科 理科(地学)



「山口くん、学習の定義は何か知っているかい」とベテランの先生から聞かれたのは、初任者研修のときでした。私が口ごもっていると、その先生は「行動の変容だよ」と教えてくれました。私はその明解さに感銘を受けました。それ以来、生徒に行動変容をもたらすような経験を与えることが、私の教科指導や生徒指導における目標になっています。今もまだこの目標と現実の落差に悩む毎日ですが、例えば自発語に乏しい自閉症の生徒が、絵カード集を携帯することでどんどん意思表示できるようになるなど、養護学校や高等学校で何人かの生徒の変容に立ち会うことができました。

このような生徒の成長に出会う度に、教師として指導技術を高めることの大切さや学び続ける大切さを実感します。そこで本稿では、私が会得した指導方法そのものではなく、私が今までどのようにスキルアップに取り組んで来たかを思い出して、そのコツをまとめてみたいと思います。

一 仲間を見つける

スキルアップの第一のコツは、自分と同じ興味や問題意識をもつ仲間を見つけることです。仲間の実践から学べることも多いし、自分の実践へのアドバイスにも勇気づけられます。仲間を見つける方

法は、とにかく話しかけること。研修会でいい発表をした先生や、インターネットの掲示板やフォーラムでいい発言をしている人を見つけたら、積極的に話しかけてみましょう。また、問題意識を共有できるのは教師だけでは限りません。保護者や臨床心理士など様々な立場の仲間をつくると楽しいです。

二 ネットワークの中心に近づく

いい仲間が見つかって、何かのサークルに参加したとします。そのサークルには必ず中心となるメンバーがいます。その中心メンバーと早く仲良くなるというのが、スキルアップの第二のコツです。そうすることでより多くの情報を得られ、他のメンバーとの心理的な距離感も早く縮まります。慣れてきたら積極的に自分の実践を発表したり、他のメンバーと情報交換をしましょう。

そのサークルに係分担があるなら、何かの係を受け持つことをお勧めします。役割を担うことも中心に居るためのひとつの方法です。私はMAP研究会の広報係としてウェブサイトをづくりを担当していますが、これもその一例です。

三 ポートフォリオをつくる

「先生は我が子にどんな教育を提供していただけるんですか」保護者にそう聞かれたら、すぐに答

えられますか。そんなときに役立つのがポートフォリオです。これまでの自分の研修内容や指導実践の内容を記録して、ひとつのファイルにしておけば、自分が生徒に提供できるサービス内容(指導スキル)が一目瞭然になります。レストランのお品書きみたいなものです。

ポートフォリオは紙のファイルでもいいのですが、公開可能なものについてはウェブ上につくるのがお勧めです。ウェブは多くの人の目に触れるので、そこから新たな仲間の輪が広がります。ただし、その場合は守秘義務と著作権に十分気を付けてください。

以上三点が私のスキルアップ法です。もちろん、この三つすべてをしなければならぬということではありません。スキルアップしようという意欲を持ち続けて気長に取り組むというのが第四のコツかもしれません。若い先生方が、これを読んで、行動変容していただければうれしいことです。



※MAP研究会ホームページ <http://www.isn.ne.jp/~hiro-y/map/>